



芽室町のコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

芽室町
教育大綱
基本理念

心豊かで「次代に輝く芽室の人」を地域全体で育みます！

目的

「地域とともにある学校づくり」であるコミュニティ・スクールを基盤として、各中学校区の小、中学校を一つの学園として捉え、系統性・連続性を重視した、義務教育9年間の一貫性のある教育を推進することにより、学力・体力の向上や中1ギャップの解消等を図る中で、次代を担う子どもたちに「自ら未来を創り、拓く力」を育むことを目的とする。

基本方針

夢育：ふるさとと夢をつなぐ

—児童生徒に芽室町への愛着と誇り・夢への挑戦心・自己有用感の醸成

郷育：学校と地域をつなぐ

—社会に開かれた教育課程を基軸とした学校と地域の協働関係の強化により、持続可能な地域づくりにつなげる

- 重点点
- 各中学校区における小学校卒業時 12 歳と中学校卒業時 15 歳の春における「めざす子ども像」の共有
 - 「めむろ未来学」をはじめとする学びの系統性・連続性を重視した小中一貫カリキュラムの編成・実施
 - 小1プロブレム、中1ギャップの解消を図る各学年、および、校種間の円滑な接続
 - 各小学校・中学校のコミュニティ・スクールの取組を基盤とする

◆ 具体的な小中一貫教育の軸

- 「めむろ未来学」の推進～探究・提案・発信型の学びの重視
 - ・「郷育・夢育」を軸とした9年間の指導計画の実践・検証
 - ・食農教育やキャリア教育、SDGsの取組の推進
- 学力・体力の向上と豊かな心の育成～探究的な学びの重視
 - ・「全国学力学習状況調査」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の弱点克服を図る指導の充実
 - ・中1ギャップ解消～乗り入れ授業や小中合同学習（新体力テストなど）
 - ・30人以下学級を編成し、A Iドリルの活用や発達段階ごとのICTスキル、プログラミング教育の充実
 - ・系統性ある学習規律、合同学校行事や児童会と生徒会の合同活動の実施
 - ・生徒指導の連携やいじめの早期発見・解決、不登校支援システムの組織化
 - ・芽室町子どもの権利に関する条例の理解・促進
- 幼保小と校種間の円滑な接続—小1プロブレム、中1ギャップに関する実践
- 合同学校運営協議会の設置と一体感のある協働活動
 - ・各小中学校の学校運営協議会との連携
- 「めむろ郷育・夢育応援団本部」との連携・協働
 - ・CSJ-ティーターを生かした学習支援や挨拶運動等、学校運営協議会と双方向の協働活動の実施
- 小中学校教職員の協働体制確立
 - ・各校における組織運営、校務分掌等の体制確立 ・各種研修会の実施
- PTA 活動の充実 ・中学校区の合同活動 ・町P連活動の充実
- 「芽室ジモト大学」の推進
 - ・地域の大人と共に未来を創る人材育成プログラム



芽室町小中一貫教育推進協議会

・各中学校区の合同学校運営協議会代表者等で組織する

芽中エリア学園

上中エリア学園

西中エリア学園



芽室町コミュニティ・スクール

【小中一貫教育の事例～食農体験学習】

中 学 校	中3 ・修学旅行先でパンフレット配布【函館・小樽】 ・レシピ開発×事業所の商品開発	・「栄養バランスと食事」 
	中2 ・職場体験学習 ・芽室の魅力パンフレット作成【地域事業所】 	・「食品を賢く選ぼう」 ・「地場産物と郷土料理」 
	中1 ・地元野菜（長いも、カボチャ等）の収穫体験【地域の農場】	
小 学 校	小6 ・「がぶりの時間」 スイートコーンやジャガイモの栽培 収穫×給食メニューづくり【町圃場】 	・「芽室の農業を知る」 
	小3～5 ・ポップコーンやビート、大豆の学習 ・社会科副読本「めむろ学」の学習【学校農園】 	・「バランスの良い食事」 ・「カルシウムの大切さ」
	小1～2 ・はじめての野菜づくり【学校農園】 	・「芽室でとれる野菜」 ・「楽しい給食時間」

食 と 農 を つ な ぐ 食 農 教 育

【小中一貫教育を推進する組織】

芽室町小中一貫教育推進協議会

・各中学校区の合同学校運営協議会代表者・教職員等で組織し、目指す子ども像の共有のもと、具体的な方策や検証等に関する協議を行う。

